

# ChatGPT に聞いてみた ユーロ 7 とは

ChatGPT:

ユーロ 7 (Euro 7) は、欧州連合 (EU) が導入する自動車の排出ガス規制の新基準で、内燃機関車 (ガソリン・ディーゼル車) と電動車の両方に対して、より厳しい環境基準を設けるものです。正式には「Euro 7 emissions standard」と呼ばれ、2025 年 7 月以降に施行予定 (※最新の施行日は若干変更される可能性があります) です。

## ✔ ユーロ 7 の主な目的

- 大気汚染のさらなる抑制 (NOx、PM など)
- 電動車を含めた全車両の環境影響の統一管理
- 現実走行 (リアルワールド) に即した排出量監視
- タイヤ・ブレーキ粒子の排出制限の導入

## 🚗 規制対象となる排出項目

分類	主な内容
排気ガス	NOx (窒素酸化物)、PM (粒子状物質)、CO、HC など
ブレーキ粉塵	新たに規制対象に (タイヤやブレーキから出る微粒子)
タイヤ摩耗微粒子	電動車にも適用 (EV の車重増加によるタイヤ摩耗対策)
車両寿命中の性能	車両の寿命 (20 万 km / 10 年) にわたり排出性能を保持することが求められる

## ⚠ ユーロ 7 の影響

1. 自動車メーカーの開発コスト増加  
→ 特にガソリン・ディーゼル車に対して追加的な排ガス処理装置が必要になる可能性。
2. 小型車・廉価車の価格上昇 or 生産終了  
→ 規制対応コストを吸収できないエントリーモデルが淘汰される可能性あり。
3. 電動車へのシフト加速  
→ 内燃機関車のハードルが上がることで、EV・ハイブリッドへの転換を後押し。

## 📅 導入スケジュール (予定)

- 2025 年 7 月 1 日から: 新型車両 (乗用車・小型商用車) への適用開始
- 2027 年から: 既存モデルへの適用拡大

※欧州議会・欧州理事会での最終承認を経て詳細は確定されます(2024~2025年にかけて制度内容の調整が行われています)。

## 補足: ユーロ6との違い

規制項目	ユーロ6	ユーロ7(予定)
NOx 排出量	一定の限度	実走行時も厳格に監視
PM 規制	排気ガスのみ	ブレーキ粉塵、タイヤ摩耗まで対象
EV への適用	対象外	EVにも一部項目(タイヤ・ブレーキ等)適用
規制期間	8年 / 16万 km	10年 / 20万 km

## まとめ

ユーロ7は単なる「排ガス規制」ではなく、**車両が与える環境影響をより包括的に捉えた基準**です。内燃機関車の開発にはコストと技術の大きなハードルが立ちほだかり、EV・ゼロエミッション車への移行をさらに促す規制とも言えます。

興味があれば、日本やアメリカの規制(WLTP, EPA)との比較や、自動車メーカーの戦略への影響についても説明できます。